



俳句

(2024)



目次

た べ も の 俳 句	モ ー ロ ク 俳 句	歳 時 記 俳 句
10 〽	5 〽	1 〽

9月の和名は「長月」。日増しに夜が長くなってくる季節という意味の「夜長月（よながづき）」が由来です。

真夏に比べると、日没時間がずいぶん早くなりました。夕方の早い時間から仄暗さを感じることもあり、夜が長くなりつつあることを実感します。

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに
巢鴨とげぬき徒然俳句
<https://blog-haiku.777usami.com>

台風之夜も灯りが駐在所

ガラス瓶猫じゃらし活け玄関に
至るとこ根を張り育つ猫じゃらし
ひと昔いやふた昔猫じゃらし

萩なれど盗人萩と冤罪を
秋の野に帆船が進む帆掛草

推敲の頭硬直秋暑し
野鶏頭ほのかな紅で素朴なり
温もりがほしいときは野鶏頭

一人でも生きがい求め秋なすび
強がりの遺伝子ありて秋の茄子

バツタ飛ぶミサイル飛んで警報が
一人では生きてゆけない思い草



おしろいや見習うべきか子沢山
夕方が逢魔の時か夕化粧
白粉花闇の匂ひのこぼれけり

人の世の心に潜む鬼薊
なぜ鬼と鬼にあらざる鬼あざみ

パソコンの疲れリセット秋風鈴

点描画秋のゲレンデコスモスは

案山子言ふ専守防衛意味あるか
案山子にも出来不出来あり格差あり
日本人諸行無常捨案山子

十五夜は空き家の増える団地にも
十五夜に下津井節や酒を酌む
十五夜にいけぶくろうで待ち合わせ



十六夜の高速道路
ポルシェかな
十六夜やはり今夜も酒を酌む

どこまでも闇の色なり吾亦紅
吾亦紅なにをつぶやき風に揺れ
癌手術経過観察吾亦紅

差別あり掃溜菊の花盛り
菊の名も掃溜菊と差別され
これも菊檻樓菊の綿役立たず

芋の葉は豪雨なにくそ翻る
空事があふれし社説いわし雲

戦争は蓮の実の連弾で
秋彼岸雲流れゆくその先は

青蜜柑自転公転ふたつみつ



椿の実食欲わかず照る照るに
椿の実固き約束あれほどに

手入れなどほどほどの庭虫の声
一匹かそれとも二匹虫の声
虫の闇行くつく先はラブホテル
虫の夜のブラックコーヒー眠られず
マーラーのホルンの後に虫を聞く

虫しぐれオーケストラに独唱も
虫しぐれリズム強弱ジャズのごと

天高しレトロパツケージ若者に
天高し空打ちしてるホツチキス



モーロク俳句

金水引モーロクすれど金は金
モーロクし慶事なければど金水引

モーロクし苦くもなく初秋刀魚
モーロクしされど秋刀魚の腸旨し
モーロクしむなしさあれど秋刀魚焼く
秋刀魚焼くひとりむなくモーロクす

台風もモーロクすれば迷走し
モーロクし台風さなか爪を切る

モーロクし稲穂うねりや永久にあれ
カンナ燃ゆ時代過ぎゆきモーロクす

ちちろ虫モーロク進み闇の果て



ちちろ虫ちちろ鳴き声不眠症
モーロクし先行き思うちちろ虫

虫の闇そのままあの世モーロクし
虫の闇だまつていたらモーロクし
虫の闇われもモーロク真暗闇

モーロクし空想世界虫の声
モーロクしコロリ逝きたし虫の声
虫しぐれモーロクすれば刹那けり
モーロクし移り変わりを虫の声

モーロクすあの世に誘う虫時雨
モーロクし二階使わず虫時雨
モーロクし階段危険虫時雨

秋暑しモーロクすれど歯磨きを
秋暑し影につまづきモーロクす



秋暑し人はモーロク腐るもの

吾亦紅モーロクすれば気ままなる
モーロクし虚しさ戯け吾亦紅

モーロクし存在軽き芋虫や
黒蜻蛉ふわふわわりモーロクす

モーロクし今は昔の鶏頭花
モーロクし感情毀れ鶏頭花
モーロクし鳴き声聞こえ鶏頭花
モーロクし己が身責めて鶏頭花
モーロクし脳天疲れ鶏頭花

満月やモーロクすれどついてくる
満月の坂道上るモーロクし
満月やよい智恵はなしモーロクし



モーロクし何を食べるか敬老日
モーロクし私の勝手思草
モーロクし微妙な隙間鯖雲

コスモスの波に翻弄モーロクし
コスモスやモーロク進み犬の声
コスモスのひとつ色濃しモーロクす

モーロクの闇の色かな曼珠沙華
モーロクし生きる苦しみ曼珠沙華
曼珠沙華モーロクすれどほぼ元氣

モーロクしすべて他人に鰯雲
モーロクしきれぎれ記憶鰯雲

モーロクし我のまぼろし秋の蝶
モーロクし油断大敵秋の蜂



蓮の実の飛んでモーロク水の音
モーロクすされど土壇場蓮は実に

桐一葉落ちてモーロク進みけり
男郎花吾はモーロク死の匂ひ

モーロクしほろ酔い気分小鳥来る
小鳥来るモーロク余生静かなり

稲妻や勘もはずれるモーロクし
いなびかり何を想いてモーロクす

モーロクし携帯重く露の世や
露の玉モーロクすれば落つるのみ
モーロクしすぐに酩酊露の世や

青蜜柑青青とモーロクす



たべもの俳句

赤白のワインそろえて九月来る

皮きれいさんま塩焼きフライパン
バターポンさんまムニエルパリの味

休日にきのこチャーハン昼食に
爽やかにクミン風味のコールスロー

カリツカリツ秋鮭皮の香ばしさ
まいたけとサバ缶炊込みシンプルに

長芋を出汁でじんわり含め煮る
里芋のクリームグラタンほくほくに

常備菜いろいろきのこだし浸し



ぬか漬けに染まるものかと秋なすび

秋バテになすと豚肉揚げ浸し
秋バテに彩り野菜ホイコーロー

秋野菜うま味炊き込む炊飯器
缶ワイン男一人のお月見を

オムレツが上手に焼けて秋暑し
目玉焼き満月ごとく日曜日

ピザハットマルゲリータで秋の昼
甘辛にイワシ蒲焼き丼に

秋茄子で中華王道麻婆茄子
里芋をごま味噌和えに小松菜と
身の油戻り鰹はお刺身で
さつまいも甘辛味のきんぴらに



いろいろのキノコ強火でソテーして
いろいろのきのこどっさりみそ汁を

激辛のカレー胃の腑に稲妻や
太刀魚はやはり定番塩焼きに

ピリ辛のホットドッグで秋の昼
秋なすを蒸して冷やしてごまあえに

レンジチン秋なすナムル簡単に

梨むいて朝昼晩のデザートに
梨を食うただただ食べてつばやいて
梨を食う同性婚も差別無く
友情はつかず離れず梨もまた





